



現在の子どもの様子		ねらい	行事	自己評価
<p>暑さの影響で室内で過ごす時間が多かったが、室内での遊びも好きな物を選んで遊んでいる子が多い。様々な素材を用意する事で作れるものが増えたり、自分のアイデアを形にして楽しんでる。しかし、片付けになると片付けを行う子どもと、そうでない子どもの姿が見られる。天気の良い日はプール遊びも楽しむ事が出来、入る度に約束をしながら思いっきり遊びを楽しんでいる。顔をつけることが出来た事を喜んで大人に見せる子もあり、今後のプール遊びも楽しみだ。</p>		<p>◆夏の生活の仕方を知り、健康に過ごす。 ◆目的を持って、工夫したり試したりしながら夏の遊びを楽しむ。 ◆思った事や考えた事を、友だちと伝えながら色々な遊びを楽しむ。</p>	<p>地域との関わり</p>	<p>水遊びがメインになりがちな8月の保育だが、水遊び以外の事にも興味を持ち楽しむ姿が見られた。戸外での活動は気温が高く危険なためほとんど行わなかったが、その分室内での遊びが充実していた。室内にテントを設置するなど工夫をする事でそこから遊びが展開していく事も多かったが、遊んだ後の片付けや道具や素材を大切にすることを欠ける場面が見られた。様々な遊びを楽しむためには、道具を大切に使う事の必要性や、遊ぶ環境がきれいな方が気持ちいいなど感じられる様に保育士も一緒に片づけを行ったり遊ぶ中で引き続き伝えていきたい。</p>
内容	環境構成	保育士の配慮		取り組みの状況と保育士の振り返り
<p>養護(生・情)教育(健・人・環・言・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆汗の始末や、着替え、水分補給などの仕方や手順がわかり、自分から進んでしようとする。 ◆自分なりの目標を持って挑戦しながらプールで遊ぶ ◆様々な用具や材料を使って考えたり、工夫したり、試したりしながら、色水遊びやシャボン玉などで遊ぶ。 ◆夏祭りに向け自分たちでアイデアを出し合ったり、必要な物を作ったりして準備する。 ◆小動物や夏野菜の世話を通して、生態を知ったり、調べたりして、命の大切さに気付く。 ◆友だちと一緒に、夏祭りや盆踊りなどの夏の行事に参加する。 ◆保育士や友だちに思った事や疑問などを言葉にして表現し、伝えようとする。 ◆友だちと一緒に、盆踊りを踊ったり、神輿を担いだりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆十分な量のお茶を用意し、コップなどの衛生面に配慮する。 ◆室温をこまめに調整したり、マットの上で休息が出来る様に場所を設けておく。 ◆潜る・泳ぐ・浮かぶなどの動きを楽しんだり、試したり出来る道具を用意しておく。 ◆自分たちで考えたり、試したり出来る素材や用具を子どもたちが取りやすい様に準備しておく。 ◆神輿作りに必要な道具を用意しておき、遊びの時間に作れるようにする。 ◆小動物の世話に必要な道具を子どもたちが使いやすい場所に用意する。 ◆世話に困った時に見る事が出来る様に図鑑などの用意しておく。 ◆盆踊りの音楽を用意し、友だちや保育士と一緒にいつでも踊れる環境を作る。 ◆朝夕の集まりでニュースや保育園での出来事について話し合ったり出来る場を設ける。 ◆気の合う友達と歌ったり踊ったりしながら楽しめる様な空間、時間を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆一人一人の様子を見守り、必要に応じて汗を拭く事や、休憩をとる事に気を付ける様声を掛ける。 ◆プールや水遊びなどの後はゆったり体を休める事の出来る時間をとり、疲れすぎないようにする。 ◆目標を持って取り組んでいる姿や、出来た時の嬉しさをタイミングよくとらえ、自信につながる様にする。 ◆遊びの様子を見守り、驚きや発見に共感したり、思い通りにいかない場合は一緒に考えたり、助言したりする。 ◆神輿作りで子どものアイデアが形になる様に援助したり、道具の準備を行ったりする。 ◆子ども達の驚きや発見、疑問を受け止め、共感したり一緒に調べながら命の大切さに気付く様にする。 ◆子どもたちが興味関心を持っている様子をとらえ楽しさに共感し盆踊りの風習などに興味を持てる様にする。 ◆自分の思いを伝えようとしている気持ちを認め、思いを言葉で表現しにくい子は保育士が補い、人に伝える喜びを感じられる様にする。 ◆踊ったり唄ったりする事を保育士も一緒に楽しみ楽しい雰囲気を作る。 		<ul style="list-style-type: none"> ◆体調を崩し休む子はほとんどいない。外気温が高い日が続いた為、戸外に出る事は中止し、室内で過ごす機会や水遊び、プール遊びの時間を多く設けた。 ◆プール活動では、好んで参加する子どもが多かった。潜る、顔つけ、ケ伸び、バタ足などを取り入れると、自信をもって取り組む姿も多く見られる。 ◆夏祭りに向けて神輿作りを行う。時間を決める事は無く、常に作りたい時に作れる環境を作った。その都度アイデアが出てきて子どもの考えが形になるようにした。祭り当日は皆喜んで参加する姿がみられた。 ◆カブトムシの世話や散歩先や夏休み中に見つけてきた虫などを保育室で飼育し、観察をしたり、世話をする姿が見られるが、長くは続かず、次に興味のある物などが見るとそちらへ気持ちがながれる子が多い。 ◆朝の会や帰りの会で何を遊ばたいか皆で意見を出したり、散歩先を決めたりした。なかなか意見が出ない子に対しては声を掛けたり話すきっかけを作った。友達同士のトラブルでは、お互いに思っている事を発言出来る様にした。 ◆夏祭りに向けて盆踊りを踊るが頻りに踊る事はしなかったが、子どもたちは保育の真似をしながら踊る事を楽しんでいた。 ◆毎朝、こんなこと知ってるよ!と言う話題を聞いてみた。ニュースで流れる天気に関する事を話題に出してくる子どもが多かった。 ◆夏祭り当日神輿を担いだ。子どもたちの楽しみにしてた様子が表情や言葉などから伝わってきた。園内だけでなく園外で練習歩きが出来た事も良い経験となったがもう少し涼しい時期だと尚よかった。
<p>食育</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆給食に出てくる夏野菜を探してみる ◆パン作りを通して気付きや発見をする ◆そうめん流しをする為の準備をしながら楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ◆パン作りに必要な道具の準備を行。エプロン三角巾持参の知らせをする。 ◆そうめん流しに必要な準備を行う。 ◆衛生面に気を付けて行う 	<ul style="list-style-type: none"> ◆栄養士と連携し準備を行うようにする。 ◆パンについて興味を持てる様にする。 ◆そうめん流しの準備を子ども達と一緒に出来るようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> ◆栄養士の協力がありパン作りを行うことが出来た。子どもたちは生地の感触を楽しんだり、焼き上がったパンに香りを楽しみながら良く食べた。 ◆そうめん流しでは、なかなか経験できない体験をすることが出来、盛り上がる、普段食が細い子ども沢山食べる姿が見られた。